

2004年5月28日

各 位

株式会社UFJホールディングス
(コード番号 8307)
UFJつばさ証券株式会社
(コード番号 8621)

株式交換によるUFJつばさ証券株式会社のUFJグループ完全子会社化について

株式会社UFJホールディングス(以下、「UFJホールディングス」と)とUFJつばさ証券株式会社(以下、「UFJつばさ証券」)は、本日開催の両社取締役会において、2004年8月16日を期して、株式交換によりUFJホールディングスがUFJつばさ証券を完全子会社化することを決定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 株式交換による完全子会社化の目的

UFJホールディングスおよびUFJつばさ証券は、金融業態内外での垣根が一段と低下しつつあるなか、お客さまの多様なニーズに的確かつスピーディーにお応えしていく体制をいち早く構築すべく、2004年3月29日にUFJつばさ証券をUFJホールディングスの完全子会社とすることに合意いたしました。UFJグループは、UFJつばさ証券を完全子会社とすることにより、業態の枠組みを超えた新しい事業モデルの早期構築を行うための大胆な経営資源配分を実現します。具体的には、従来の業務・法人格を軸とした事業展開から、顧客セグメント毎のグループ事業展開へ迅速に移行し、お客さまのニーズにより的確に応えていく体制を構築することで、グループ収益の極大化を図ってまいります。

各顧客セグメントの主要戦略は以下の通りです。株式交換実施後、速やかに実現してまいります。

(1) リテール分野

～規制緩和を最大限に活かした「融合型グループリテールモデル」の確立

イ) 営業の「担い手」再配置による運用・相談業務の展開

証券仲介業の銀行への解禁に合わせ、約100名規模の営業人材をUFJつばさ証券からUFJ銀行へ派遣し、両社間の証券仲介ビジネスを早期に立ち上げます。

(業務の進展に合わせ更なる派遣も検討)

ロ) グループ営業網の整備

間貸し形式で展開している共同店舗のUFJつばさ証券からUFJ銀行への移管、UFJつばさ証券店舗内へのUFJ銀行ATM・テレビ窓口(ACM)の設置など、両社の拠点機能の融合・統合を検討し、顧客利便性と業務の効率性向上を追求してまいります。

(2)ミドル法人分野

～債券運用ビジネスの銀行での本格展開と市場誘導業務への取り組み

イ)債券営業体制の強化

- ・UFJつばさ証券の販売支援・営業員をUFJ銀行へ派遣、UFJ銀行にて債券営業を主体とした証券仲介業を立ち上げ、UFJつばさ証券の商品組成力とUFJ銀行の顧客基盤を活かしたビジネスを展開します。
- ・UFJつばさ証券の一部営業機能をUFJ銀行へ集約するなど、銀行・証券の法人向け債券営業拠点を整理・統合し、グループ内経営資源の有効活用を図ります。

ロ)市場誘導業務の本格展開

- ・UFJ銀行のPOMマーケティング部門を増強(UFJつばさ証券より人員投入)し成長企業向け助言機能を強化、UFJつばさ証券との連携により株式公開ニーズに応えていきます。

(3)大企業取引・商品開発分野

～グループ協働体制の強化による提案型営業力の向上

イ)営業体制の整備

- ・UFJ銀行3母店(東名阪法人営業部)に設置済の「投資銀行デスク」人員増強により、企業事業戦略・財務戦略に関する提案型営業を一層推進します。

ロ)グループ連携強化による総合金融商品開発体制の整備

- ・UFJつばさ証券にフィナンシャルエンジニアリング室新設(4月実施済)、専門分野人材の積極的な採用や、銀行・証券間の活発な人材交流にて、グループの商品開発体制を強化します。

(4)インフラ整備

～顧客セグメントを軸にしたグループ事業展開をサポートする体制整備

イ)横断的運営体制の構築

- ・拠点運営体制の統一、一元化を実施し、円滑な横断的運営を図ります。

ロ)グループインフラの有効活用・効率化

- ・グループ・ファシリティー・マネジメントの共同化を検討します。

2.株式交換の条件等

(1)株式交換の日程

| | |
|----------------|----------------------|
| 株式交換契約書承認取締役会 | 2004年5月28日 |
| 株式交換契約書締結 | 2004年5月28日 |
| 株式交換契約書承認株主総会 | 2004年6月29日(UFJつばさ証券) |
| UFJつばさ証券上場廃止日 | 2004年8月10日(予定) |
| UFJつばさ証券株券提出期日 | 2004年8月15日(予定) |
| 株式交換の日 | 2004年8月16日 |

UFJホールディングスは、商法第358条第1項にもとづき、株主総会の承認を得ることを要しない簡易株式交換を実施いたします。

(2) 株式交換比率

| | 株式会社UFJホールディングス (完全親会社) | UFJつばさ証券株式会社 (完全子会社) |
|--------|----------------------------|-------------------------|
| 株式交換比率 | 1 | 0.00095 |

(注)

1. 株式の割当比率

UFJつばさ証券の普通株式 1株に対して、UFJホールディングスの普通株式 0.00095 株を割当て交付します。

2. 株式交換比率の算定根拠

UFJホールディングスはメリルリンチ日本証券株式会社を、UFJつばさ証券はリーマン・ブラザーズ証券会社を財務アドバイザーとして採用し、グローバルに採用されている算定方法等のアドバイスを受け、相互にデューデリジェンスを行うと同時に、両社の株価、株価倍率、1株当たり収益等を勘案し両社で協議した結果、株式交換比率を決定いたしました。

なお、上記の株式交換比率は、算定の前提となる諸条件に重大な変更が生じた場合には、両社で協議の上、変更することがあります。

3. 第三者機関による算定結果、算定方法および算定根拠

メリルリンチ日本証券株式会社およびリーマン・ブラザーズ証券会社は、市場株価分析、類似企業株価分析、収益還元分析等による算定結果を総合的に評価、分析いたしました。その結果、UFJホールディングスはメリルリンチ日本証券株式会社より、UFJつばさ証券はリーマン・ブラザーズ証券会社より、株式交換比率が各社株主にとって財務的見地から妥当である旨の意見書を受領しております。

4. 株式交換により交付する新株式数 普通株式 208,311.33 株

(3) 株式交換交付金

該当事項はありません。

3. 株式交換後の状況

| 商号 | 株式会社UFJホールディングス | UFJ証券株式会社 (2004年9月21日商号変更予定) |
|-------|---------------------------------|---------------------------------|
| 事業内容 | 持株会社 | 証券業 |
| 本店所在地 | 大阪府中央区 | 東京都千代田区 |
| 代表者 | 取締役社長 玉越 良介 (2004年6月25日就任予定) | 取締役社長 藤本 公亮 |
| 資本金 | 1,000,000 百万円 | 25,107 百万円 |

業績に与える影響

UFJつばさ証券は、現在UFJホールディングスの連結子会社であり、今期の連結業績に与える影響は軽微であります。

今後は、UFJつばさ証券の完全子会社化によって、グループ経営の効率化や経営資源の有効活用を実行していくことにより、連結業績の向上が期待できると考えております。

4. 当事会社の概要

(2004年 3月 31日現在)

| | UFJホールディングス (完全親会社) | | | UFJつばさ証券 (完全子会社) | | | |
|---------------------------|---------------------------------|----------------|------------|-----------------------|---------------|--------|--------|
| 事業内容 | 持株会社 | | | 証券業 | | | |
| 設立年月日 | 2001年 4月 2日 | | | 1948年 4月 23日 | | | |
| 本店所在地 | 大阪市中央区 | | | 東京都千代田区 | | | |
| 代表者 | 取締役社長 杉原 武 | | | 取締役社長 藤本 公亮 | | | |
| 資本金 | 1,000,000 百万円 | | | 25,107 百万円 | | | |
| 発行済株式総数 | 普通株式 | 5,093,408.36 株 | | 普通株式 | 603,243,089 株 | | |
| | 第一回第一種優先株式 | 13,542 株 | | | | | |
| | 第二回第二種優先株式 | 200,000 株 | | | | | |
| | 第三回第三種優先株式 | 16,989 株 | | | | | |
| | 第四回第四種優先株式 | 150,000 株 | | | | | |
| | 第五回第五種優先株式 | 150,000 株 | | | | | |
| | 第六回第六種優先株式 | 1,008 株 | | | | | |
| | 第七回第七種優先株式 | 200,000 株 | | | | | |
| 株主資本 | 3,953,474 百万円 | | | 223,252 百万円 | | | |
| 総資産 | 4,310,792 百万円 | | | 3,468,392 百万円 | | | |
| 決算期 | 3月 31日 | | | 3月 31日 | | | |
| 従業員数 | 92 名 | | | 2,790 名 | | | |
| 大株主及び 持株比率 | ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 505010 | 5.3% | | UFJホールディングス(*1) | 63.6% | | |
| | 日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口) | 4.9% | | UFJ信託銀行(*1) | 3.9% | | |
| | 日本マスタートラスト信託銀行(信託口) | 4.3% | | UFJパートナーズ投信(*1) | 3.5% | | |
| | ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー | 2.8% | | 日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口) | 1.6% | | |
| | 日本生命保険 | 2.7% | | 日本マスタートラスト信託銀行(信託口) | 1.5% | | |
| 最近3 決算期間 の業績 (*) | 決算期 | 01年度 | 02年度 | 03年度 | 01年度 | 02年度 | 03年度 |
| | 営業収益(百万円) | 84,725 | 18,286 | 20,416 | 50,064 | 61,167 | 85,881 |
| | 営業利益(百万円) | 75,576 | 12,426 | 17,625 | 6,231 | 1,147 | 21,972 |
| | 経常利益(百万円) | 75,152 | 11,940 | 16,587 | 5,873 | 936 | 22,008 |
| | 当期純利益(百万円) | 74,602 | 11,540 | 10,646 | 8,991 | 14,236 | 17,842 |
| | 1株当り 当期純利益(円) | 12,291.35 | 632.91 | 437.71 | 32.33 | 25.98 | 30.00 |
| | 1株当り 年間配当金(円) | 0 | 0 | 0 | 6.00 | 5.00 | 6.00 |
| | 1株当り 株主資本(円) | 478,830.97 | 480,891.22 | 484,234.99 | 453.32 | 350.07 | 375.80 |

(*1)UFJグループ会社持分については本日現在で記載。

(*2)いずれも単体決算の数値を記載。1株当たり指標は普通株式のもの。

UFJつばさ証券は02年6月1日に旧UFJキャピタルマーケット証券と合併している。

以上